

# 平成 29 年度 環境生活部 「実行宣言」

環境生活部長 吉田 敏昭

## 『松阪市総合計画～住みやすさ進行中！バージョンアップ松阪～』の担当政策

- 4 人と地域の頑張る力（地域づくり）
- 5 安全・安心な生活（防犯・防災）
- 6 快適な生活（生活基盤の整備）
- 7 市民のための市役所（行政経営）

### 基本方針

○快適で安全な生活環境の実現、環境にやさしい活動の実践、省エネルギーの推進、さらには新たなエネルギー政策など、現在および将来の市民が健康を保持し、安全で快適かつ文化的な生活をおくることができる環境づくりの推進。

○市民・事業者・行政が連携し、ごみの適正な処理を行うとともに、ごみの発生抑制と再利用、再生利用、熱回収の循環的な利用を促進し、資源を有効に利用できる循環型社会の実現。

○戸籍、住民基本台帳、印鑑登録などの業務における個人情報の適切な管理とともに、正確で迅速・丁寧な窓口サービスの提供および市民の利便性の向上。

○日常の身近な犯罪、交通事故などから、市民の生命、身体及び財産を守り、安全で安心なまちづくりを推進していくための諸施策の実施。

○市民一人ひとりの人権の尊重・擁護と自殺防止対策の推進および男女がともに自分らしい生き方ができる男女共同参画社会の推進。

### 実行宣言

- ①環境施策の計画的な推進を図るため「第二次環境基本計画」を策定し、環境にやさしい市民が暮らすまちをめざします。 (環境課)
- ②効率的かつ適正なごみ処理（分別、収集、処理）体制の構築について検討します。 (清掃事業課)
- ③3R活動等を推進し、一人一日あたりのごみ排出量 900g 以下をめざします。 (清掃政策課)
- ④ごみ処理・処分施設の適正管理と発生するごみを迅速かつ衛生的に処理します。 (清掃施設課)
- ⑤「証明書コンビニ交付事業」の開始を踏まえマイナンバーカードの普及に取り組みます。 (戸籍住民課)

期首宣言シート

- ⑥交通事故死傷者数 748 人及び刑法犯認知件数 1,374 件（平成 28 年度）以下をめざします。  
（地域安全対策課）
- ⑦こころの相談窓口の周知や関係機関、団体との連携により自殺者数 26 人以下をめざします。  
（人権・男女共同参画課）

マネジメント方針

- ・業務の状況報告や情報の共有があたりまえにできる職場体制をめざします。
- ・新たな取組に対する提案を具申できる職場環境をめざします。
- ・職員の資質の向上に努めます。
- ・市民に対し、常に親切、丁寧な対応に心がけ市のイメージアップに努めます。
- ・交通事故の抑止の取組は、当部局が担任していることの重みを常に意識し、危機感を持った行動や意識の高揚を図ります。
- ・作業現場における安全対策の確立をめざし安全衛生委員会を毎月開催するとともに毎朝の安全作業等の確認ミーティングを実施します。

組織マネジメントシート

宣言①	環境施策の計画的な推進を図るため「第二次環境基本計画」を策定し、環境にやさしい市民が暮らすまちをめざします。
担当	環境課
『総合計画』の施策との関わり	6-① 自然と生活の環境保全
組織紹介	<p>環境課は、快適で安全な生活環境の実現、環境にやさしい活動実践、省エネルギーの推進、さらには新たなエネルギー政策等、みんなで地球にやさしい生活をする中で、豊かな自然を身近に感じることができる環境づくりの推進をしています。</p> <p>快適で安全な生活環境の実現をめざして、平成 26 年度より「松阪市みんなでまちをきれいにする条例」を制定し、事業所や団体に「まちなか清掃活動」への働きかけを行い、平成 27 年度より路上喫煙禁止区域を指定し啓発・周知に取り組んでいます。</p> <p>平成 29 年度は、自治体新電力会社の設立により電力の地産地消及び再生可能エネルギー等の効率的な地域での活用による市公共施設の電気使用料削減と地域活性化をめざしていきます。</p> <p>又、松阪市の環境保全に向け市民、市民団体、事業者、と協働する取組の指針となる「第二次環境基本計画」を策定し、環境にやさしい行動の普及啓発に取り組んでいきます。</p>

本年度事業の活動指標と達成目標					期末記入欄	
No.	事業名	活動指標	目標	関係施策	実績	評価
1	浄化槽設置促進事業費	行政チャンネルでの啓発回数	2 回	6-①	—	—
2	畜犬登録等事業費					
3	環境衛生一般経費					
4	行旅死亡人取扱事業費	行旅死亡人の処理	100%	6-①	—	—
5	公衆便所管理事業費	職員による毎月の見回り回数	3 回	6-①	—	—
6	動物愛護推進事業費	イベント等での啓発回数	3 回	6-①	—	—
7	斎場・火葬場管理事業費	職員の接遇研修実施回数	1 回	6-①	—	—
8	斎場・火葬場施設整備事業費					
9	篠田山墓地管理事業費					
10	環境調査事業費	騒音・振動等の調査箇所数	11 箇所	6-①	—	—
11	環境啓発活動事業費	イベント等での啓発活動回数	7 回	6-①	—	—
12	環境保全一般経費					
13	Matsusaka-EMS 事業費	外部の視点を取り入れた外部監査の実施	1 回	6-①	—	—
14	環境基本計画策定事業費	環境基本計画策定委員会の開催回数	9 回	6-①	—	—
15	環境パートナーシップ会議事業費	環境フェア来場者数	4,100 人	6-①	—	—
16	自治体新電力事業出資金	プロポーザルの実施と新会社の設立	100%	6-①	—	—
17	し尿業者許可事業費	担当者会議開催回数	2 回	6-①	—	—
18	松阪地区広域衛生組合分担金	担当者会議開催回数	2 回	6-①	—	—
19	し尿転送業務負担金	受託業者との担当者協議開催回数	1 回	6-①	—	—

**組織マネジメントシート**

20	火葬施設解体事業費	火葬場解体に伴う地元の合意	100%	6-①	—	—
21	共同簡易飲料水供給施設管理事業費	木梶、栃谷両地区の水道組合との協議回数	2回	6-①	—	—
22	戸別合併処理浄化槽整備事業特別会計繰出金	戸別合併処理浄化槽の新規設数	40基	6-①	—	—
23	一般管理経費					
24	施設維持管理事業費					
25	生活排水処理施設整備事業費					
評価基準…A (90%以上) 、 B (70~89%) 、 C (50~69%) 、 D (30~49%) 、 E (29%以下)						
<b>評価理由 (期末記入欄)</b>						
*****						
*****						

<b>その他の取組について</b>	
取組名称	期末評価
—	—
評価基準…A (90%以上) 、 B (70~89%) 、 C (50~69%) 、 D (30~49%) 、 E (29%以下)	
<b>評価理由 (期末記入欄)</b>	
*****	
*****	

組織マネジメントシート

宣言②	効率的かつ適正なごみ処理（分別、収集、処理）体制の構築について検討します。
担当	清掃事業課
『総合計画』の施策との関わり	6-② 資源循環型社会の推進
組織紹介	<p>ごみの適正な分別・収集、処理・処分を市民と行政が連携して取り組み、居心地が良いと感じられる環境にやさしいまちづくりを進めています。</p> <p>また、ムダなく資源が循環しているまちをめざし、3Rの推進、環境教育、啓発の推進等に取り組み、ごみ減量と再利用化の促進等を図っています。</p> <p>主なものとして、</p> <p>①適正なごみ処理体制を確立するために、「ごみの分け方・出し方」の周知や啓発、業務量に応じた人員配置による処理体制の強化等に取り組んでいます。</p> <p>②監視活動や啓発の推進により、不法投棄を発生させない環境づくりを推進しています。</p> <p>③リサイクル施設の運転及び資源化処理として、資源物等の選別作業、危険ごみの選別及び処理に取り組んでいます。</p>

本年度事業の活動指標と達成目標					期末記入欄	
No.	事業名	活動指標	目標	関係施策	実績	評価
1	清掃一般経費	ごみカレンダー配布部数	68,000部	—	—	—
2	塵芥収集事業費	不法投棄監視パトロール回数	3回/月	6-②	—	—
3	廃棄物集積所設置補助金	補助件数	20件	6-②	—	—
4	塵芥収集車購入手業費	塵芥収集車輛の計画的買替	1台	6-②	—	—
5	塵芥処理一般経費	①高須処分場跡地の清掃回数 ②油川排水路の清掃回数	①3回 ②2回	—	—	—
6	松ヶ崎公園管理事業費	利用団体及び利用者数	700団体 33,000人	—	—	—
評価基準…A (90%以上)、B (70~89%)、C (50~69%)、D (30~49%)、E (29%以下)						
評価理由 (期末記入欄)						
*****						
*****						

その他の取組について	
取組名称	期末評価
<p>◎塵芥収集車（パッカー車）出前体験学習</p> <p>松阪市内各小学校で授業の一環として塵芥収集車（パッカー車）を使用した出前体験学習を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・塵芥収集車（パッカー車）の説明</li> <li>・ごみ分別学習（クイズ形式等）</li> </ul> <p>平成28年度実績（20校919人）程度の実施を目標とする。</p>	—
評価基準…A (90%以上)、B (70~89%)、C (50~69%)、D (30~49%)、E (29%以下)	
評価理由 (期末記入欄)	
*****	
*****	

**組織マネジメントシート**

<b>宣言③</b>	<b>3 R 活動等を推進し、一人一日あたりのごみ排出量 900 g 以下をめざします。</b>
<b>担当</b>	清掃政策課
『総合計画』の施策との関わり	6-② 資源循環型社会の推進
<b>組織紹介</b>	<p>清掃政策課は、3R の考え方を基本として市民・事業・行政が連携してごみの適正な処理を行うとともに、ごみの発生抑制を図ることで、資源を有効に利用できる循環型のまちづくりをめざします。</p> <p>昨年度は、安全で安定したごみ処理施策の推進として、「一般廃棄物処理基本計画」、「災害廃棄物処理計画」のベースとなるものを策定しました。また、クリーンセンターの新設に伴って旧第二清掃工場の解体を完了しました。</p> <p>平成 29 年度は、上記 2 件の計画の完成に加え、「最終処分場基本構想」の策定を行います。また、旧第二清掃工場解体跡地のストックヤード（一時保管所）建設に係る実施設計を完成させ、解体に伴って発生した広陽公園の復旧工事も行います。</p> <p>加えて、ごみの減量と再利用及び資源化を推進する取組として、小学校を対象とした環境学習の実施、3R サポーター活動の支援、ごみ減量に関する各種講座の開催、資源物集団回収補助金の推進、生ごみ堆肥化容器補助金制度の推進等に取り組みます。</p>

本年度事業の活動指標と達成目標					期末記入欄	
No.	事業名	活動指標	目標	関係施策	実績	評価
1	リサイクル事業費	一日一人あたりのごみ量	900g 以下	6-②	—	—
2	三雲リサイクルセンター管理事業費	資源の受け入れ量	400t 以上	6-②	—	—
3	飯南・飯高ごみ減量推進事業費	資源の受け入れ量増加率（平成 28 年度対比）	3%	6-②	—	—
4	ごみ減量対策事業費	啓発講座開催数	30 回	6-②	—	—
5	生ごみ堆肥化容器等購入補助金	補助金申請件数	100 件	6-②	—	—
6	資源物集団回収活動補助金	集団回収量	4,320t 以上	6-②	—	—
7	ごみ処理基盤施設建設事業費	①ストックヤードの実実施設計進捗 ②広陽公園の復旧工事の進捗	①100% ②100%	6-②	—	—
8	リサイクルセンター管理事業費	庁者及び設備に関する苦情件数	0 件	6-②	—	—
9	省資源再資源化一般経費	他市町・団体が集まる研修会等に出席する回数	3 回	—	—	—
評価基準…A（90%以上）、B（70~89%）、C（50~69%）、D（30~49%）、E（29%以下）						
評価理由（期末記入欄）						
*****						
*****						

組織マネジメントシート

その他の取組について	
取組名称	期末評価
—	—
評価基準…A (90%以上) 、 B (70~89%) 、 C (50~69%) 、 D (30~49%) 、 E (29%以下)	
評価理由 (期末記入欄)	
* * * * *	
* * * * *	

**組織マネジメントシート**

<b>宣言④</b>	<b>ごみ処理・処分施設の適正管理と発生するごみを迅速かつ衛生的に処理します。</b>
<b>担当</b>	清掃施設課
『総合計画』の施策との関わり	6-② 資源循環型社会の推進
<b>組織紹介</b>	<p>清掃施設課は、「松阪市クリーンセンター」と「最終処分場」の適正な管理・運営を行っており、市民、事業者、行政が連携し、ごみの適正な処理を行うとともに、熱回収の循環的な利用を促進することにより、温室効果ガスの排出量を削減し、資源を有効に利用できる循環型社会の実現をめざし、周辺地域の環境保全に努めています。</p> <p>「最終処分場」は、現在約72%が埋まった状況で、平成37年度には埋立終了になる予定であるため、平成29年度より次期最終処分場整備の推進に向けての作業に取り組んでいくとともに、安全で安定したごみ処理を継続して行います。</p>

本年度事業の活動指標と達成目標					期末記入欄	
No.	事業名	活動指標	目標	関係施策	実績	評価
1	クリーンセンター管理事業費	一般廃棄物を適正に処理するための年間稼働日数	350日	6-②	—	—
2	ごみ処理事業費					
3	最終処分場管理事業費	最終処分場周辺地域における処理水の水質検査の実施回数	12回	6-②	—	—
4	最終処分場事業費					
5	最終処分場施設整備事業費					
6	上川町遊歩道公園管理事業費	①利用団体数 ②利用者数	①35団体 ②2,500人	—	—	—
評価基準…A(90%以上)、B(70~89%)、C(50~69%)、D(30~49%)、E(29%以下)						
評価理由(期末記入欄)						
*****						
*****						

その他の取組について	
取組名称	期末評価
環境整備(整理・整頓・清掃・清潔)の徹底	—
安全作業マニュアルの更新	—
親切丁寧な市民対応	—
評価基準…A(90%以上)、B(70~89%)、C(50~69%)、D(30~49%)、E(29%以下)	
評価理由(期末記入欄)	
*****	
*****	



**組織マネジメントシート**

<b>宣言⑤</b>	「証明書コンビニ交付事業」の開始を踏まえマイナンバーカードの普及に取り組みます。		
<b>担当</b>	戸籍住民課		
<b>『総合計画』の施策との関わり</b>	7-① 計画的な行政運営 7-② 市民との情報共有		
<b>組織紹介</b>	<p>戸籍住民課は、出生、婚姻、死亡等の戸籍に関する届出や転入、転出、転居等の住民異動の手続き、住民票の写し等の各種証明書の交付などを行う窓口であり、市民のみなさんにとって関わりの深い部署です。多くの個人情報が含まれているため、常に慎重に取り扱いながら、正確・迅速・丁寧を心がけた窓口サービスを行っています。</p> <p>平成 29 年度は、マイナンバーカードを利用して全国のコンビニエンスストア店舗で住民票の写しなどの各種証明書が取得できる「証明書コンビニ交付サービス」を開始します。市民のみなさんに活用していただけるよう、カードの普及促進にも力を入れていきます。</p> <p>また、婚姻届を提出されたご夫婦に記念品をお贈りするとともに、市役所内に記念撮影コーナーを設置する「結婚お祝い事業」を実施し、届出時の楽しい思い出を作っていただくことで、市民のみなさんとの距離を縮め、より市役所を身近に感じていただけるよう努めていきます。</p>		

本年度事業の活動指標と達成目標					期末記入欄	
No.	事業名	活動指標	目標	関係施策	実績	評価
1	個人番号カード交付事業費	マイナンバーカード申請率	10%	7-①	—	—
2	証明書コンビニ交付事業費	コンビニ交付での証明書発行率(2月~3月)	1%	7-①	—	—
3	結婚お祝い事業費	アンケート結果の満足度	80%	7-②	—	—
4	戸籍住民基本台帳一般経費	窓口でのお客様の待ち時間短縮率	10%	—	—	—
評価基準…A (90%以上)、B (70~89%)、C (50~69%)、D (30~49%)、E (29%以下)						
評価理由 (期末記入欄)						
*****						
*****						

その他の取組について	
取組名称	期末評価
時間外窓口業務実施の周知	—
職員の能力向上	—
接遇の向上	—
ホームページの見直し	—
評価基準…A (90%以上)、B (70~89%)、C (50~69%)、D (30~49%)、E (29%以下)	
評価理由 (期末記入欄)	
*****	
*****	

**組織マネジメントシート**

<b>宣言⑥</b>	交通事故死傷者数 748 人及び刑法犯認知件数 1,374 件（平成 28 年度）以下をめざします。	
<b>担当</b>	地域安全対策課	
<b>『総合計画』の施策との関わり</b>	5-① 交通安全対策の充実 5-③ 防犯対策の充実	
<b>組織紹介</b>	<p>地域安全対策課は、課名が示すように『松阪市の安全』を担うことを業務としている部署であり、私たちはこの目的を達成するため、2つの柱を構築し、事業を進めています。</p> <p>一つ目の柱は、「交通安全対策の充実」です。</p> <p>松阪市は平成 28 年中 5,504 件の交通事故が発生し、10 名の尊い命が失われましたが、私たちは、様々な交通安全対策を通じて、松阪市民の交通ルールの遵守と交通マナーの向上に取り組み、交通事故死者数ゼロをめざします。</p> <p>二つ目の柱は、「防犯対策の充実」です。</p> <p>平成 28 年中において 1,370 件の刑法犯認知件数が発生しましたが、私たちは地域や関係団体と連会をした防犯対策事業に取り組み、安全で安心なまちづくりを進め、刑法犯認知件数の半減をめざします。</p>	

本年度事業の活動指標と達成目標					期末記入欄	
No.	事業名	活動指標	目標	関係施策	実績	評価
1	安全・安心なまちづくり推進事業費	安全・安心施策推進協議会等の開催回数	3 回	5-③	—	—
2	防犯対策事業費	防犯啓発活動等の開催回数	10 回	5-③	—	—
3	交通安全啓発事業費	交通安全啓発延べ人数	6,000 人	5-①	—	—
4	交通安全教育推進事業費	交通安全教室延べ参加者数	22,500 人	5-①	—	—
5	地域交通安全対策活動事業費	地域での交通安全教室開催回数	26 回	5-①	—	—
6	自転車駐車対策事業費	放置自転車対策啓発延べ人数	5,000 人	5-①	—	—
7	交通安全対策一般経費	交通安全啓発延べ人数	6,000 人	—	—	—
評価基準…A (90%以上)、B (70~89%)、C (50~69%)、D (30~49%)、E (29%以下)						
評価理由 (期末記入欄)						
*****						
*****						

その他の取組について	
取組名称	期末評価
—	—
評価基準…A (90%以上)、B (70~89%)、C (50~69%)、D (30~49%)、E (29%以下)	
評価理由 (期末記入欄)	
*****	
*****	

組織マネジメントシート

宣言⑦	こころの相談窓口の周知や関係機関、団体との連携により自殺者数 26 人以下をめざします。
担当	人権・男女共同参画課
『総合計画』の施策との関わり	4-④人権の尊重 4-⑤男女共同参画の推進
組織紹介	<p>人権・男女共同参画課は、市民一人ひとりの人権が尊重され、障がい者、高齢者、女性、子ども、外国人への差別や部落差別など、あらゆる差別をなくすための行動を促すとともに、全ての人が希望と誇りを持って社会に参加できる地域社会の実現を推進しています。</p> <p>また、「男女共同参画社会」の実現のため、市民が性別にかかわらず個人として尊重され、男女が対等な立場であらゆる分野に参画し、責任を分かち合うよう推進しています。</p> <p>昨年度は、あらゆる差別をなくすため、また、男女共同参画への理解を深めるために、街頭啓発、講演会、映画会、フォーラム等で啓発を行いました。</p> <p>平成 29 年度は、幅広い年齢層の方が参加いただけるよう、年齢層に適した PR 方法で、効果的、効果的な啓発活動を実施していきます。</p>

本年度事業の活動指標と達成目標					期末記入欄	
No.	事業名	活動指標	目標	関係施策	実績	評価
1	人権啓発活動推進事業費	人権図画ポスター応募者数	770 人	4-④	—	—
2	人権啓発事業費	人権講演会参加者数	400 人	4-④	—	—
3	人権施策推進事業費	人権関係職員等養成講座受講者数	40 人	4-④	—	—
4	多文化共生推進事業費	イベント参加者数	4,500 人	4-④	—	—
5	地域自殺対策強化事業費	自殺者数	26 人以下	4-④	—	—
6	生活利エンティション事業費	通訳、翻訳対応件数	6,000 件	4-④	—	—
7	人権啓発一般経費	三重県人権・同和行政連絡協議会の研修内容の課内研修	1 回	4-④	—	—
8	男女共同参画行政推進事業費	松阪フォーラム参加者数	450 人	4-⑤	—	—
9	プラザ鈴管理運営事業費	主催講座開催数	10 講座	4-⑤	—	—
10	男女共同参画一般経費	松阪市男女共同参画審議会開催	2 回	—	—	—
評価基準…A (90%以上)、B (70~89%)、C (50~69%)、D (30~49%)、E (29%以下)						
評価理由 (期末記入欄)						
*****						
*****						

その他の取組について	
取組名称	期末評価
人権意識の高揚のため、講演会などの啓発活動の取組	—
人権講演会の参加者満足度 92%以上の取組	—
気軽に人権相談のできる体制の取組	—
メンタルパートナー養成研修の取組	—
ワンストップによるこころの合同相談会の取組	—
男女共同参画啓発活動の取組	—
評価基準…A (90%以上)、B (70~89%)、C (50~69%)、D (30~49%)、E (29%以下)	

組織マネジメントシート

評価理由（期末記入欄）

\*\*\*\*\*  
\*\*\*\*\*